

重井博先生「感謝の碑」完成

宮本邦男

重井先生ゆかりの地に感謝の碑が完成しました。

会員の方はもちろんのこと、会員以外の人にも呼びかけて、一人でも多くの賛同者を得たいこと、重井先生が成し遂げられた偉業の一つのひいご池湿地の保全に対する多くの方の御努力に感謝の気持ちを表したい、などの理由から、「ひいご池湿地を顕彰する感謝の碑建立有志の会」を結成して、賛同者を募りましたところ、「重井 博先生のお名前を高梁川流域に未来永劫に残したい。」との意向が広く理解され、115名もの多くの方に、有志の会へ加わって頂きました。ご協力下さいました多くの方に感謝致します。

感謝の碑建立有志の会を平成11年9月に結成した私達が、まず始めたのは碑の原石を高梁川流域から探すことでした。建設省の河川担当の方に入手の可能性を打診したところOKとのことから、流域の主な所を探して回りました。しかし、最適な石があっても採取が困難な場所にあたり、石の外観が不適當であったり、採取時に河川の諸設備に破損等の恐れがあるなど流域の本流での採取は無理と判断しました。

重井先生は三室峡を大変愛して居られたし、三室峡の自然を残す事にお亡くなりになられる寸前まで、執念を燃やされていたことが私達に再度原石探しの教示めいたものを与えられ、平成11年10月23日萱原潤氏と筆者が下見に行きました。ダムの底に沈む流域へ石碑に適した石がたくさん有り、しかも採取ができそうなことを確認しました。

このことと並行して石碑の製作に最先端技術を駆使して、狭い石碑の面に1300をこえる文字を刻むことのできる専門家を探しました。その結果、鳥取県境港市にご在住の中田繁氏にお願いすることにしました。中田繁氏は石彫分野で数々の賞を獲得され、日本石彫学会の正会員です。快く石碑の製作を受けて下さいましたので、平成11年11月6日氏を三室峡に招いて原石選定作業をしました。(写真1)はその時の様子です。三室川の中で中田繁氏が下見されています。ダム工事が進む現地で中田繁氏は「こんな美しい所を水に沈めてはいかん」と幾度も咬いて居られました。

三室峡ダム建設場所に重井先生関連の顕彰碑の原石を求めることの可能性について11月初旬岡山県の関係者に打診しました。平成12年2月OKとの内諾が得られたので、平成12年3月21日付けで岡山県知事宛に河川法25条による申請をしました。これに対して平成12年4月3日付けで阿新地方振興局長より許可がありました。原石は4月15日現地三室峡で運送業者を交えて再度打ち合わせの後、4月



(写真1)

22日に約8トンの大きな原石が境港市へと搬送されました。



(写真2)

トン積みトラックでヒイゴ池湿地へ運ばれて据え付けを終えました。(写真2)。

平成12年6月21日「ヒイゴ池湿地を顕彰する感謝の碑」は、梅雨の晴れ間の辺りがノハナショウブに包まれた、美しい環境の中に除幕されました。(写真3)はその時の様子です。重井先生の奥様、竹内総社市長、岡本総社市議会議長、藤間日本道路公団中国支社津山工事事務所長、室山会長、矢吹地元福井新田町内会長、それに筆者によって除幕されました。高さ210cm、幅130cm、奥行き120cm、重さ約8トンの花崗岩に黒御影石の石版がはめ込まれています。石版の左右端部には工芸家の岡嶋邦義氏切絵のハッチョウトンボとユウスゲ



(写真3)

募金活動がうまくいくのだろうかといった私達の心配をよそに、感謝の碑は着々と完成されました。6月14日基礎が完成し、6月19日碑文の刻まれた碑が12

が刻まれています。岡嶋氏はこのために徹夜もされたとか、頭の下がる思いがします。

当日は感謝の碑の除幕に先立って、この碑を今後管理して下さる総社市への贈呈式が行われました。笹田本会事務局長の司会によって、開会の辞、筆者による挨拶、事務局経過報告、目録贈呈、上記各氏による除幕、総社市長謝辞、岡本総社市議会議長、藤間日本道路公団中国支社津山工事事務所長、室山会長の来賓祝辞、室山会長の音頭で乾杯、閉会の辞へと円滑に進行して式を終えました。本会の理事、倉敷の自然をまもる会役員、重井先生にゆかりの方々、総社市職員、地元の北小学校の児童、マスコミその他大勢の方々の力で盛大な式を行うことができましたことを感謝致します。重井先生のお嬢さんの泣き顔を拝見したとき、苦勞が報われました。

最後になりましたが、原石の入手に道を開いて下さった小野泰弘県会議員および総社市環境課、募金事務その他庶務に終始御協力頂いたマキノカメラ総社支店の皆様、そして、土岐朝日新聞倉敷支局長および女流写真家久田時子氏には写真提供の好意に感謝致しております。

決算のご報告およびお礼状は通信費の関係上会員の方には御送付いたしません、本誌に掲載させていただきますので、ご了承下さい。ありがとうございました。

顕彰碑建立に係る収支報告

| 収 入 | | 支 出 | |
|-------|-----------|--------------------|-----------|
| 項 目 | 金 額 | 項 目 | 金 額 |
| 寄付金収入 | 1,456,530 | 顕彰碑建立費用 | 1,389,150 |
| | | 通 信 費 | 5,320 |
| | | 雑 費 | 14,322 |
| | | 余 剰 費 | 47,738 |
| | | (北の吉備路保 全協会へ寄付) | |
| 収入計 | 1,456,530 | 支出計 | 1,456,530 |